

(第1面)

産業廃棄物処理計画書	
令和5年6月30日	
岩手県知事 達増 拓也 殿	
提出者 住 所 岩手県花巻市山の神797番1 氏 名 株式会社 伊藤組 代表取締役 伊藤 智仁 電話番号 0198-24-1193	
廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。	
事業場の名称	株式会社 伊藤組
事業場の所在地	岩手県花巻市山の神797番地1
計画期間	令和5年4月1日～令和6年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	建設業
②事業の規模	売上高 40.0億
③従業員数	118名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙-1のとおり



## 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)  
別紙-2のとおり

## 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類（CO・AS）	その他がれき
	排 出 量	4,928 t	170 t
	（これまでに実施した取組） 工事担当者へ、自社処分場への搬入指導。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類（CO・AS）	その他がれき
	排 出 量	14,000 t	1,000 t
	（今後実施する予定の取組） 工事担当者へ、自社処分場への搬入指導の強化。 特にがれき類（CO・AS）については、再生材としての販売強化		

## 産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）  別紙のとおり
②計画	（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）  別紙のとおり

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類（CO・AS）	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	4,928 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自社納入量全量再生骨材として利用。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類（CO・AS）	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	14,000 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 再生骨材として、路盤材、アスファルト合材への利用促進。		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類（CO・AS）	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	4,928 t	0 t
	（これまでに実施した取組） 自社納入量全量再生骨材として利用。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類（CO・AS）	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	0 t	0 t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	14,000 t	0 t
	（今後実施する予定の取組） 再生骨材として、路盤材、アスファルト合材への利用促進。		

## (第4面)

## 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	その他のがれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	170 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 工事担当者へ自社処分場への搬入指導。		
② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	その他のがれき類	
	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	1000 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 工事担当者へ自社処分場への搬入指導強化		

## 産業廃棄物の処理の委託に関する事項

① 現状	【前年度（ 4 年度）実績】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類（CO・AS）	その他のがれき類
	全 処 理 委 託 量	4,928 t	170 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(これまでに実施した取組) 現場が自社処分場から遠い為やもう得ず他の処分場へ搬入。		

② 計画	【目標】 別紙のとおり		
	産業廃棄物の種類	がれき類 (CO・AS)	その他のがれき類
	全 処 理 委 託 量	14,000 t	0 t
	優良認定処理業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	再生利用業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処 理 委 託 量	0 t	0 t
	(今後実施する予定の取組) 現場が遠い場合を除き自社処分場への搬入指導強化。		
※事務処理欄			

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1) ①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

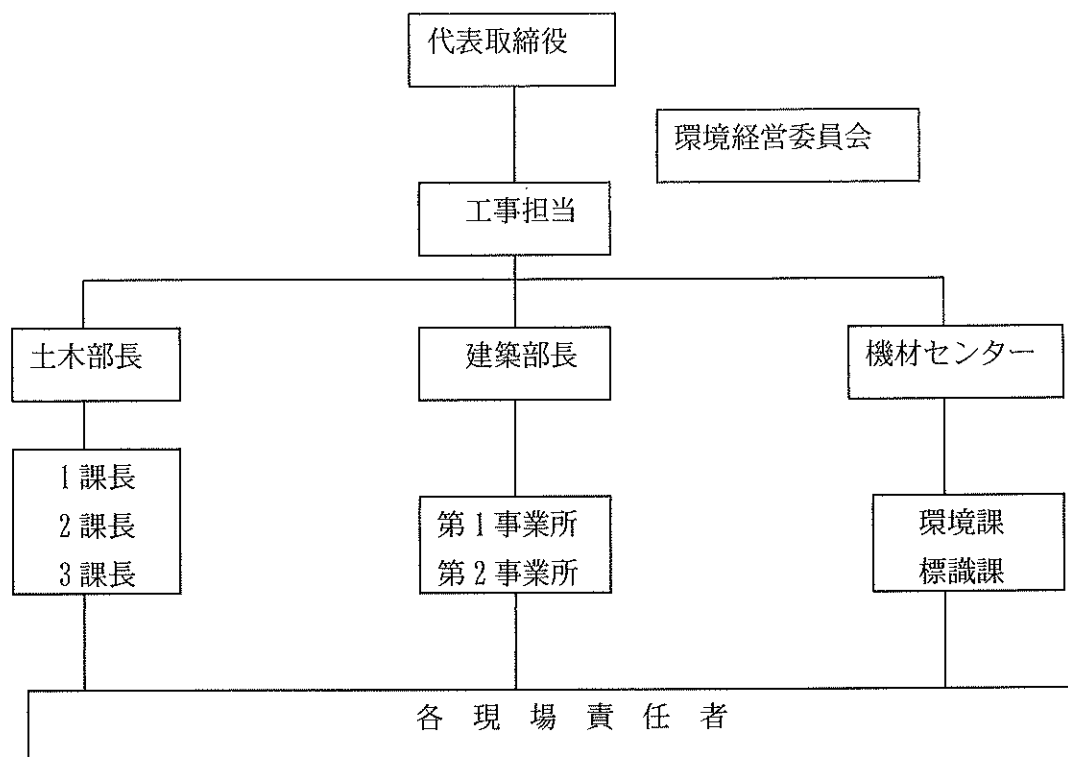
## ④ 産業廃棄物の一連の処理の工程

・がれき類	自社中間処理（破碎 骨材化） 再生利用 委託（破碎 骨材化） 再生利用
・木くず	委託 焼却 埋立
・紙くず	委託 焼却 埋立
・繊維くず	委託 焼却 埋立
・金属くず	委託 スクラップ化
・ガラス・陶磁器	委託 埋立
・プラスチック	委託 焼却 埋立
・汚泥	委託 脱水 埋立
・廃油	委託 焼却
・石綿	委託 袋詰め 埋立
・その他がれき類	自社埋立（安定型） 委託

## 管理体制

## (1) 組織体制

環境経営委員会を設置し、エコ活動を推進している。作業現場では現場責任者が廃棄物の管理を行っている。



## (2) 情報管理

各現場がマニフェスト伝票により廃棄物の種類、量、処理内容をチェックし、総務部が受理し整理している。今後は、電子マニフェスト条件の揃う環境では、電子マニフェストの利用を推進する。

## (3) 研修、教育

各部において、月例の全体会議及び定期的な所課長会議の中で、産業廃棄物処理に関する説明を実施している。今後は、外部での研修会に限定した者でなく、更に参加者を増やしていく。

協力会社には、各作業所での会議等で産業廃棄物の処理及び削減に関して指導を実施している。今後、協力会社災害防止協議会パトロールを通じて指導して行く。



2

有償物量


不要物等発生量

排出量

自ら直接  
再生利用する量

②	0	t
---	---	---

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分する量

③  t

自ら中間処理した後  
再生利用する量

⑧	0	0
---	---	---

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分する量

9	0
	0

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

	14551.2	
⑫	14500.0	t

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬	0	t
---	---	---

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量

[illegible]

直接及び自ら  
中間処理した後の  
委託処理量

10	436.6
----	-------

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪	0
---	---

自ら中間処理  
する量

④	4.928.2	t
---	---------	---

自ら中間処理した  
後の残さ

⑥	0
---	---

④のうち熱回収  
を行う量

⑤	0	t
---	---	---

自ら中間処理により減量した量

⑦	4,928.2
	14,000.0

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪	0
---	---

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	5,364.8 15,000.0	t
②+⑧自ら再生利用を行った量	4,928.2 13,000.0	t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量	4,928.2 13,000.0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処 行を行った量		t
⑩全処理委託量	436.6 1,000.0	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を 行う業者への処理委託量		t

2

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接  
再生利用する量

② 

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分する量

③	0	t
---	---	---

自ら中間処理した後  
再生利用する量

⑧

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分する量

⑨  $\begin{array}{|c|} \hline 0 \\ \hline 0 \\ \hline \end{array} t$

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

12	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬	0	t
	0	

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の

熱回収を行う業者 への処理委託量	0
---------------------	---

直接及び自ら  
中間処理した後の  
委託処理量

10	0	t
----	---	---

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

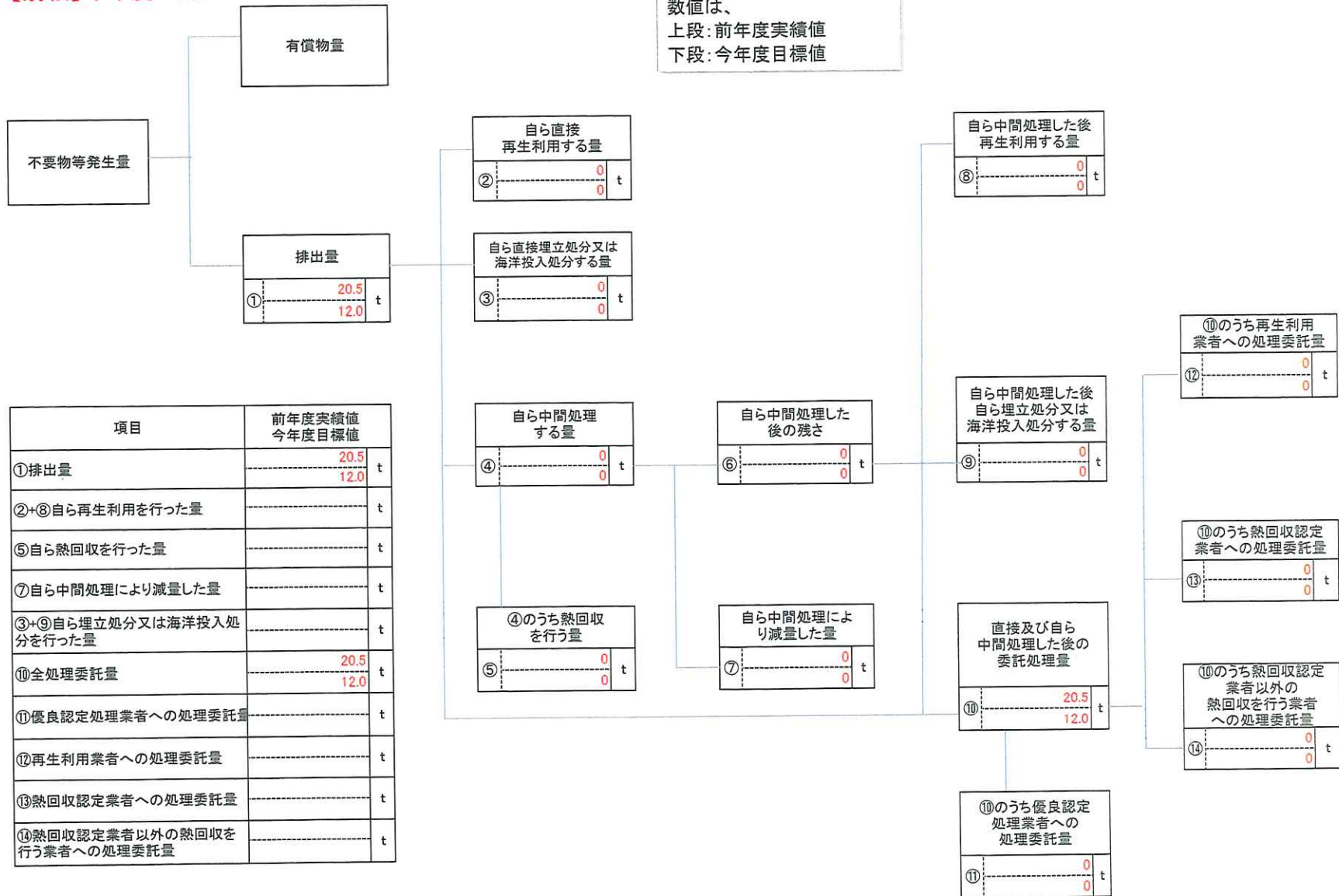
(11)	0	t
------	---	---

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	4,928.2 14,000.0	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量	4,928.2 14,000.0	t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量		t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

(産業廃棄物の種類: ガラス、陶磁器くず)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接  
再生利用する量

②	0	t
---	---	---

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分する量

③	0	t
---	---	---

自ら中間処理した後  
再生利用する量

⑧  $\frac{0}{0}$  t

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分する量

⑨	0	t
---	---	---

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫  $\frac{0}{0}$  t

⑩のうち熱回収認定  
業者への処理委託量

⑬  $\frac{0}{0}$   $t$

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の  
熱回収を行う業者  
への処理委託量

14	0	0	t
----	---	---	---

直接及び自ら  
中間処理した後の  
委託処理量

⑩		0	+
---	--	---	---

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

⑪		0	t
---	--	---	---

自ら中間処理  
する量

④	0	t
---	---	---

自ら中間処理した  
後の残さ

⑥	0	t
---	---	---

④のうち熱回収  
を行う量

⑤	0	t
---	---	---

自ら中間処理により減量した量

⑦	0	t
---	---	---

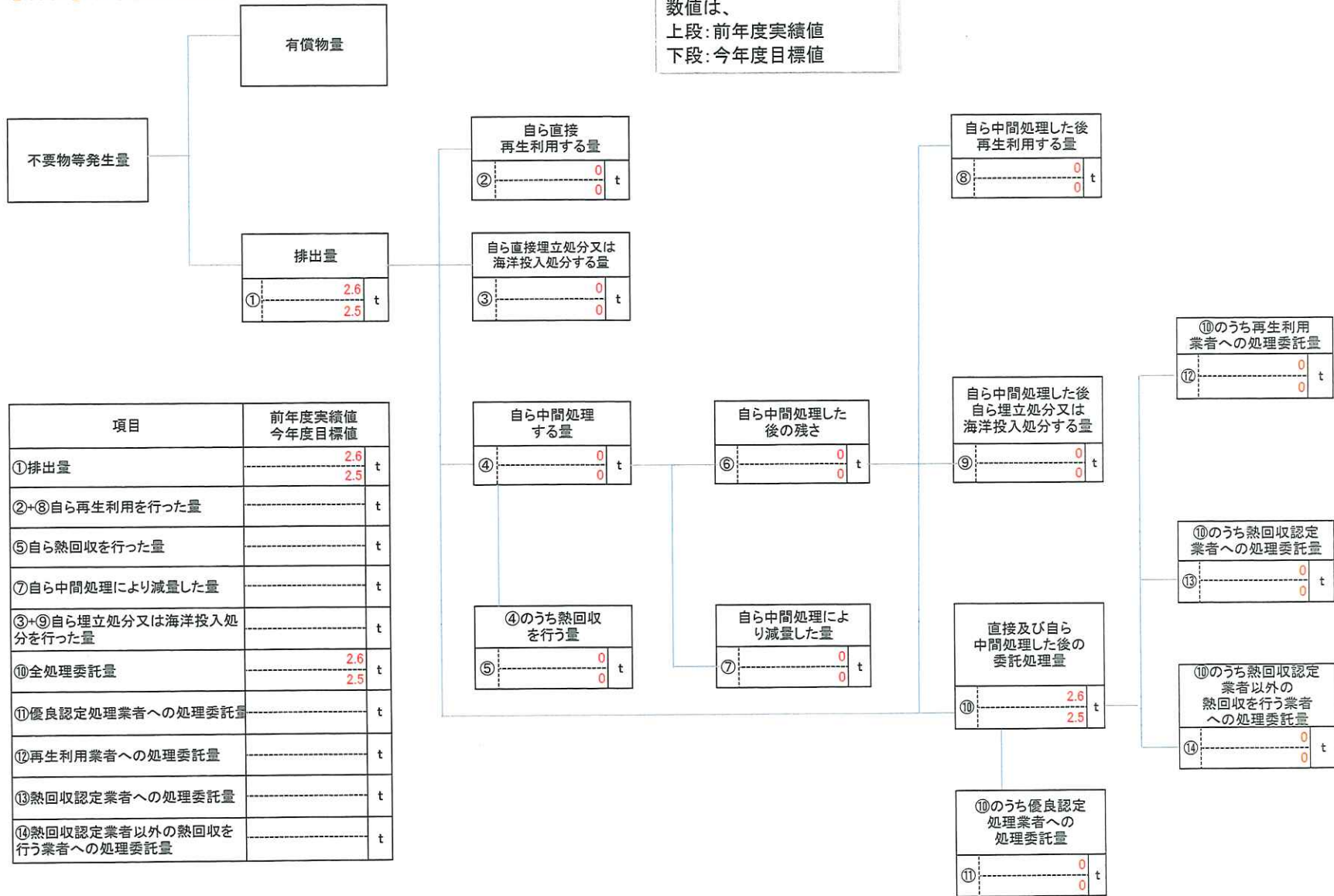
項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	172.8 800.0	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量		t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t



(産業廃棄物の種類: 金属くず)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



## )

有償物量

不要物等発生量

排出量

自ら直接  
再生利用する量

②	0	t
---	---	---

自ら直接埋立処分又は  
海洋投入処分する量

③  $t$

自ら中間処理した後  
再生利用する量

⑧		0
		0

自ら中間処理した後  
自ら埋立処分又は  
海洋投入処分する量

⑨	0
	0

⑩のうち再生利用  
業者への処理委託量

⑫	0
	0

⑩のうち熱回収認定業者への処理委託量

13	0
	0

⑩のうち熱回収認定  
業者以外の

熱回収を行う業者 への処理委託量	熱回収を行わない業者 への処理委託量	合計
100	0	100

直接及び自ら  
中間処理した後の  
委託処理量

⑩	26.3
---	------

⑩のうち優良認定  
処理業者への  
処理委託量

11		0
		0

項目	前年度実績値 今年度目標値	
①排出量	26.3 35.0	t
②+⑧自ら再生利用を行った量		t
⑤自ら熱回収を行った量		t
⑦自ら中間処理により減量した量		t
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量		t
⑩全処理委託量	26.3 35.0	t
⑪優良認定処理業者への処理委託量		t
⑫再生利用業者への処理委託量		t
⑬熱回収認定業者への処理委託量		t
⑭熱回収認定業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t

## 2

有償物量

排出量

②	0	t
---	---	---

③	0	t
---	---	---

⑧	0	t
---	---	---

⑨	0	t
---	---	---

12	0	t
----	---	---

13	0	0
----	---	---

14	0
	0

10	0.1
----	-----

⑪		0
---	--	---

前年度実績値	今年度目標値
--------	--------

0.1	t
0.3	

	t
--	---

	t

	c
	d

	t
0.1	

0.3	t
-----	---

	t
--	---

A horizontal line with a vertical line segment at the right end labeled 't'.

	t
--	---

④	—	t
---	---	---

⑥	0	t
	0	

⑤	0	t
---	---	---

⑦	0	t
---	---	---

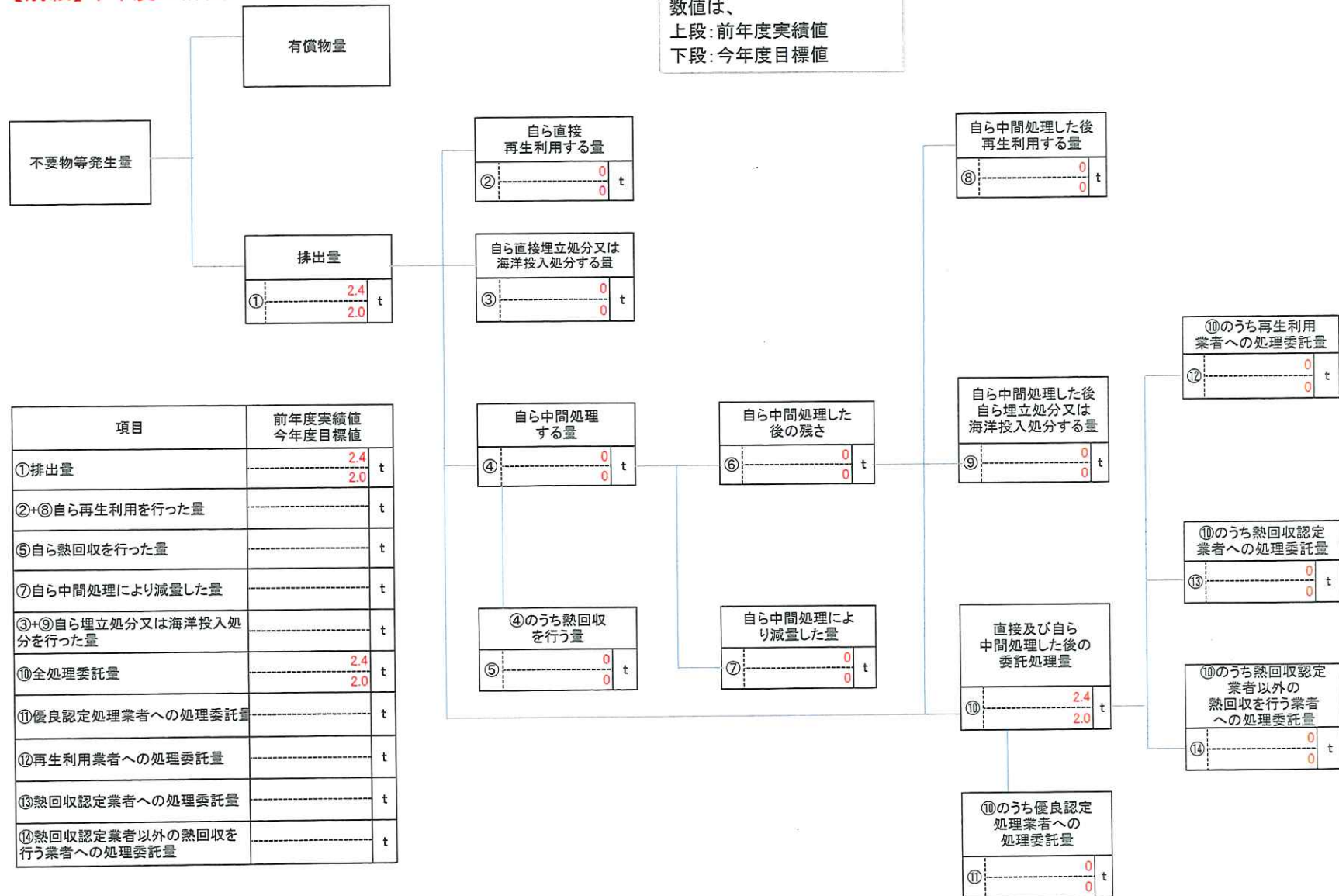
10	0.1
----	-----

⑪		0
---	--	---

2

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段：前年度実績値  
下段：今年度目標値

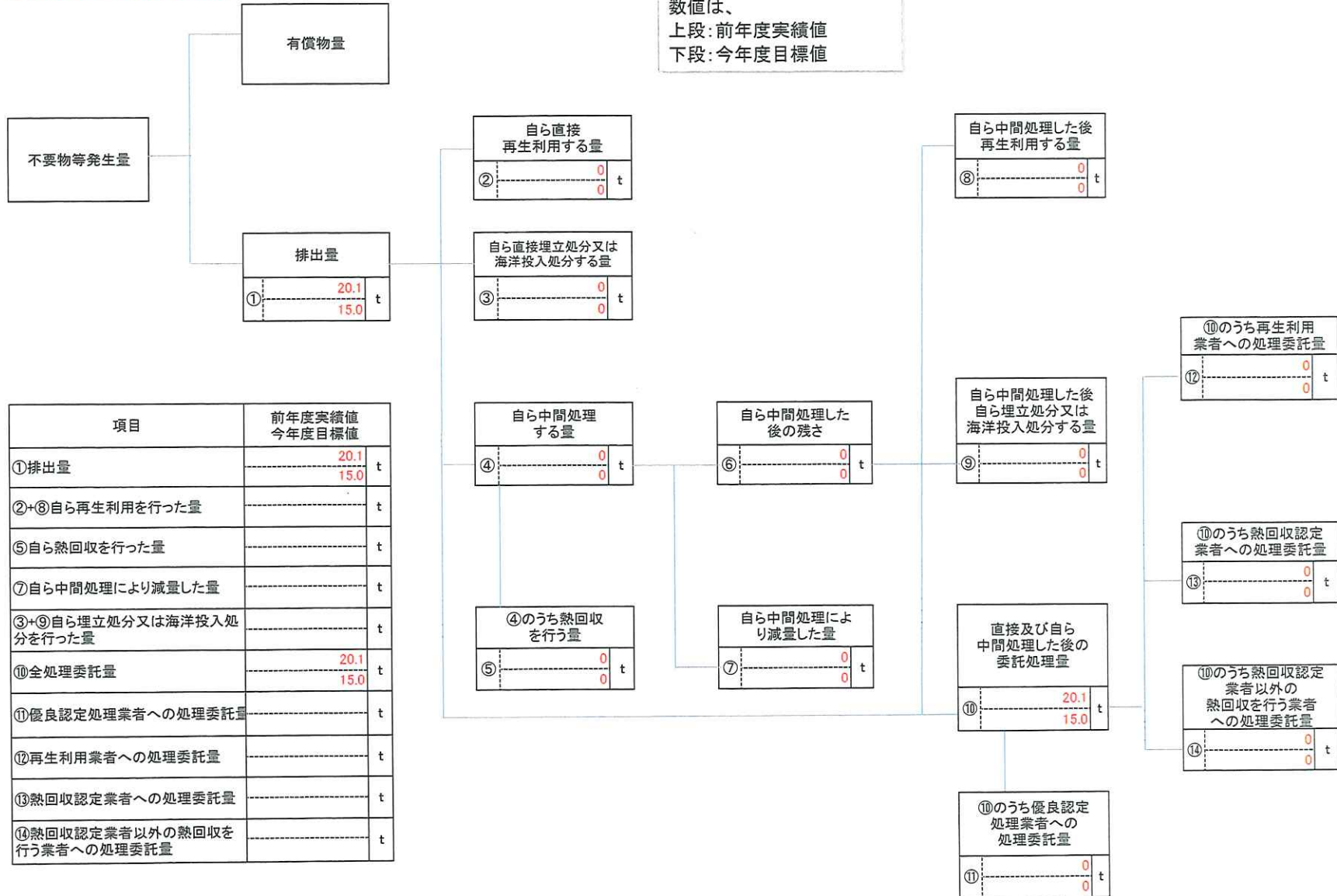




(産業廃棄物の種類: 石綿含有産業廃棄物)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

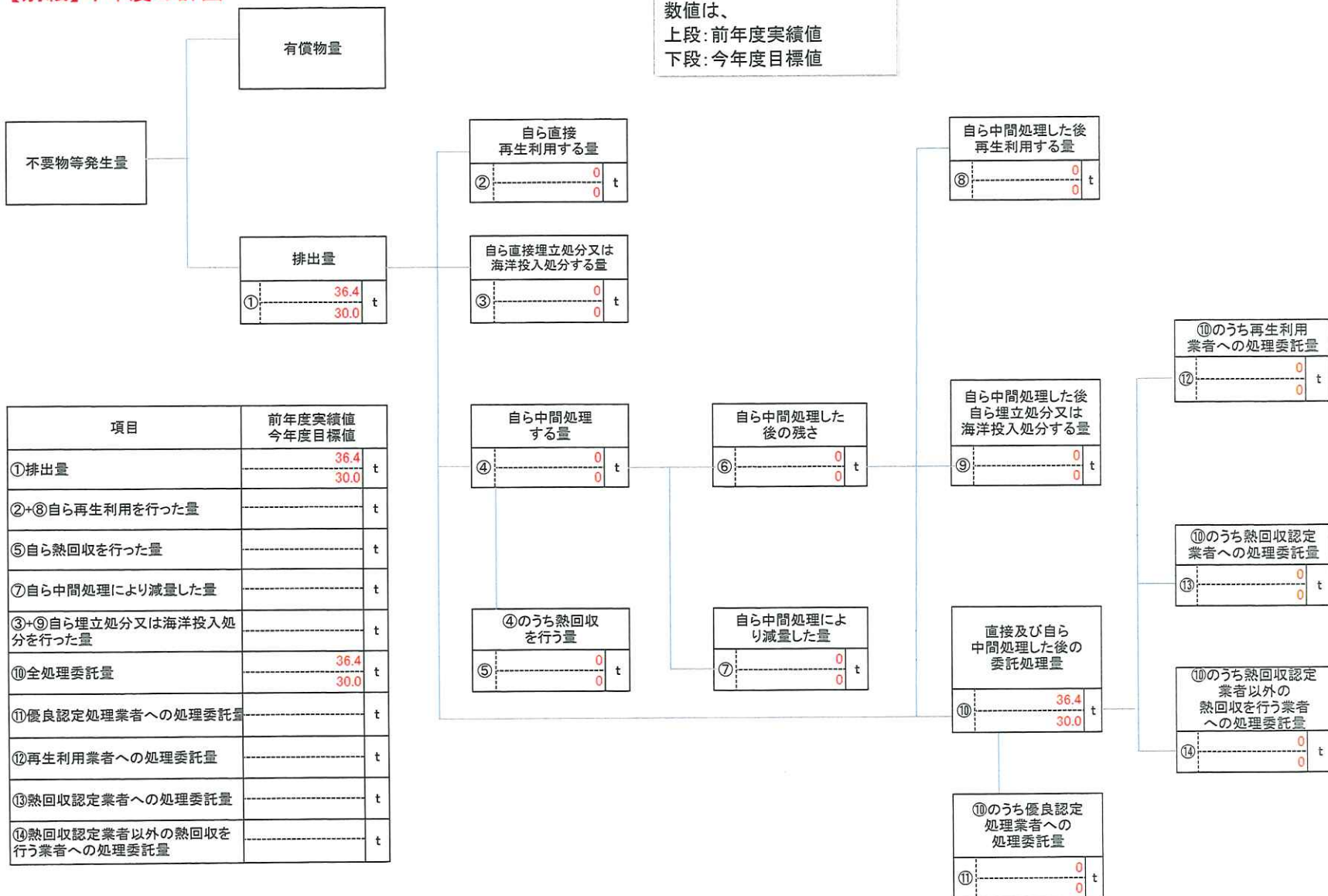


【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃プラスチック類)

)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

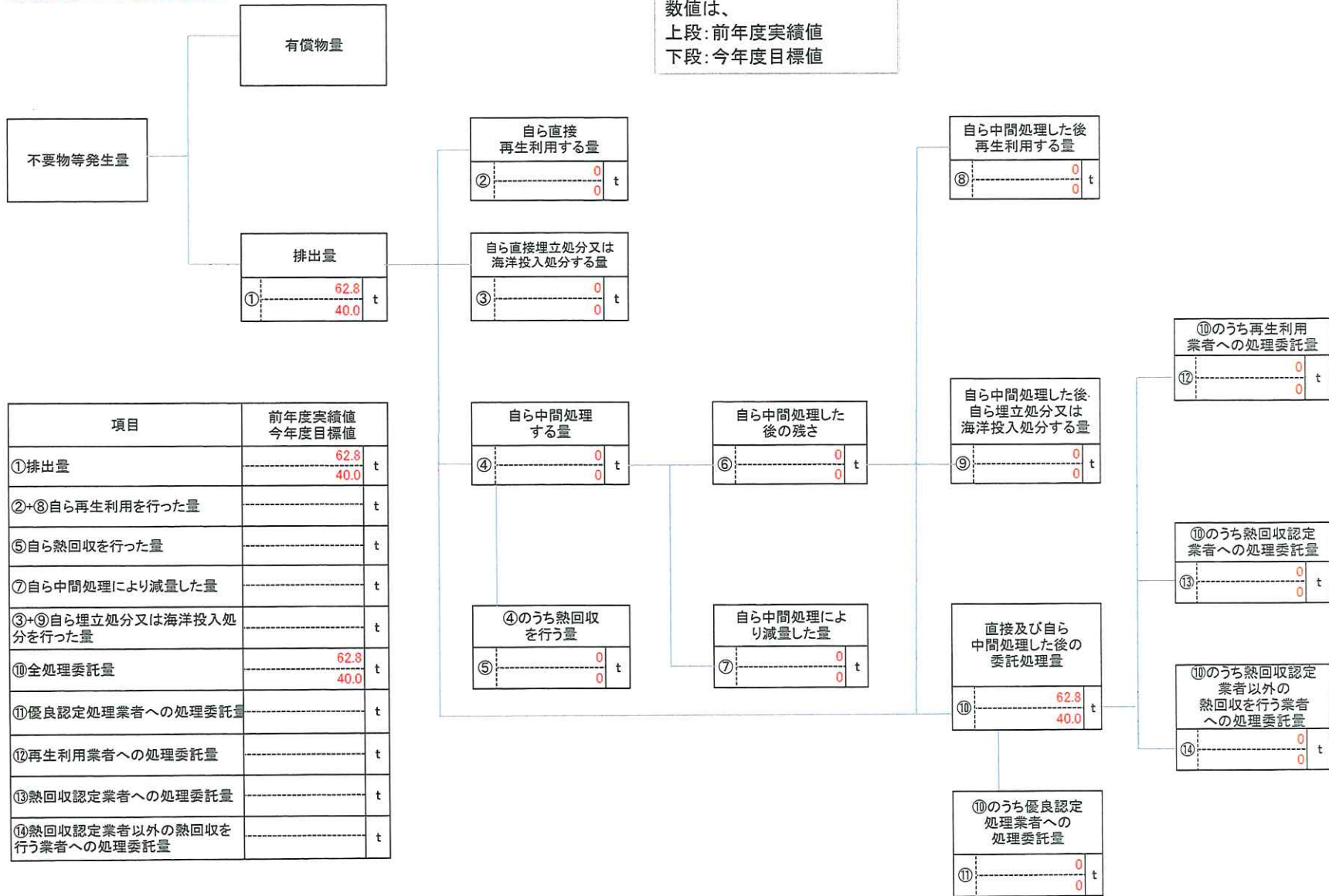


【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 廃石膏ボード)

)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値



【別紙】今年度の計画

(産業廃棄物の種類: 木くず)

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値





(産業廃棄物の種類: 繊維くず)

【別紙】今年度の計画

数値は、  
上段: 前年度実績値  
下段: 今年度目標値

